第５３回 燃料デブリ取り出し専門委員会 議事要旨

日　時：令和７年 10 月 20 日（月）　１０：００～１２：００
場　所：原子力損害賠償・廃炉等支援機構 Web 会議システム

１．２号機 PCV 内部調査・試験的取り出し作業の進捗状況について

東京電力から２号機 PCV 内部調査・試験的取り出し作業の進捗状況について説明した。
専門委員からの主な意見は以下のとおり。

○ ロボットアームによる PCV 内部調査及び試験的取り出しを行う目的整理（テレスコ式装置で行ったこととの差異等）が必要である。
○ メーカ仕様通りの耐放射線性を確認できなかったカメラについて、今後の再発防止策をしっかりと立案することが重要である。
○ 今回のような作業において複数人が経験を積むことが人材育成につながることから、将来の燃料デブリ取り出し本格化の際の運転体制を見据えた人材育成計画が重要である。

2．２号機ペデスタル内燃料デブリの分析状況について

日本原子力研究開発機構から２号機ペデスタル内燃料デブリの分析状況について説明した。
専門委員からの主な意見は以下のとおり。

○ 燃料デブリ取り出しに向けて、どのような情報が必要かというニーズを明確にした上で分析を行うことが重要である。
○ 燃料デブリのウラン濃縮度が炉心平均値より大きいか小さいかは重要であり、今後の分析に期待したい。
○ 今後の安全管理・被ばく評価・環境評価では、アルファ線を放出する核種のリスクが顕著になるため、今後の分析では、アルファ線核種の挙動等に着目した分析を進めることが求められる。

以上